



県民の森だより

2017 8月号

発行

宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801

〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41

(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

入園料：無料

利用時間：4月～10月/9時～16時30分

11月～3月/9時～16時

ザリガニ釣りに挑戦しませんか？
(詳細は裏面イベント情報にて)

カブトムシを育ててみよう！ 今年は7月下旬辺りから、成虫が姿を見せ始めているようですよ (去年より少し遅め)



成虫のメス 1 匹に対して、オスを多く入れるとけんかをして体力を消耗し、寿命が短くなってしまいますので注意。メスは約 30 個前後の卵を産みます(その中で幼虫になれるのは 1 / 3 ほど)。

卵は約 10 日～3週間くらいで孵化し、幼虫は腐葉土を食べて成長します。ケースがあっという間にフンだらけになることもあるので、幼虫の時期には様子をよく見て、土を入れ替えてあげましょう。

特に冬場は土が乾燥しないよう、霧吹きで土を湿らせるのも忘れずに。

今月のけんみんのもり写真館 スペース広めバージョン スタッフが見つけたしぜんのひとコマ

県民の森名木紹介 vol.33 イイギリ



トチバニンジン (ウコギ科) 極楽人參 別名チクセンニンジン

名前は葉がトチノキの葉に、ニンジンは朝鮮人參に似ていることによります。果実が赤く熟し長い莖の先端に重く垂れ下がっています。根茎は咳止めの薬用になります。(駒野)

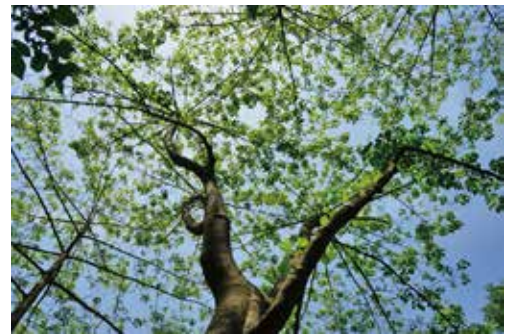


ポタンツル (キンポウゲ科) 牡丹蔓

名前は葉がポタンの葉に似ていることによります。日当たりのよい山野に生えるつる性の花で白い花を上向きに多数咲かせています。さして特徴のない花ですが、どこか人目を引くあでやかさが感じられます。(駒野)

白っぽく灰褐色な幹肌で、輪状に開出する枝ぶりは独特な樹形。県民の森では、青少年の森の苗畑倉庫からやや奥の観察道と、通称3号幹線に沿う「ながつきの道」等に見られます。園の開設当時に植えられたものとの事ですが、立派な高木に育っています。

別名・ナンテンギリと言われる様に、秋、雌木には赤い実を付けます。この秋、確認をお勧めいたします。(工藤)



ヘクソカズラ (アカネ科) 屁糞蔓 ヤイトバナ・サオトメカズラ

名前は全草に悪臭があることによります。なんとも気の毒な名前であるが、もんだり、つぶした時の臭いに、なるほどと思えます。名前のわりには可愛い花をつけ、光沢のある黄金色の果実は風情がありクラフトの材料に利用されます。(駒野)



クサフジ (マメ科) 草藤

名前は花の集団「花序」が上向きながらフジの花に似て、葉がフジより小さく小葉が多いことによります。つる草で、青紫色の花の房をつけてたたずむ姿が美しいです。(駒野)



オオヒラタシデムシ (シデムシ科) 大扁埋葬虫・大扁死出虫

幼虫はダンゴムシに似ますが、脚は6本でれっきとした昆虫です。8月中旬に成虫になり、幼虫も成虫も小動物の死体や糞を食べ、森をきれいに掃除する分解者の役割をしてくれます。捕まえると臭いにおいを出すので注意！(入岡)



シオヤアブ (ムシヒキアブ科) 塩谷蛇

獲物は昆虫など小さな生き物で、飛んでいる最中に背後から襲い、太い口器を突き刺して体液を吸い取ります。人を刺すことは稀ですが、自分より大きな生き物に奇襲を仕掛けることもあり、スズメバチの天敵?とも言われています。(入岡)

イベントのスケジュールなどは裏面「8月・9月のイベント情報」をご覧ください